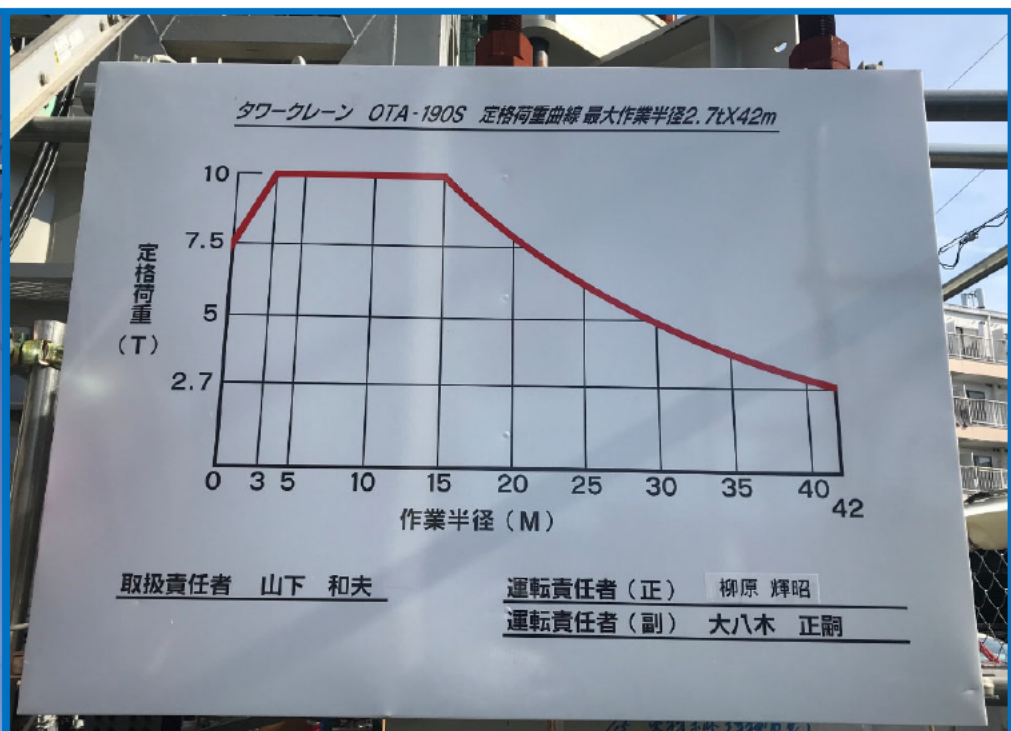


対象タワークレーン



鉄道営業線

一般道路

作業エリア

最大半径・許容荷重の見える化



作業ヤードが狭くオペレータからの視界が悪いため、タワークレーンの最大半径及び作業能力を地上にマーキングし、見える化することで 吊荷重の超過によるトラブルの撲滅を図った